

■ 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、大阪府立近つ飛鳥博物館との連携イベント ■

大阪初の世界文化遺産をめざす

「もず・ふるいち古墳群」を体感しよう！

～ グランフロント大阪ナレッジキャピタルで8月20日(土)・21日(日)開催 ～

関西大学総合情報学部 AMD (Art × Media × Design) プロジェクトは、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議〔大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市〕ならびに大阪府立近つ飛鳥博物館と連携し、VisLab OSAKA の協力を得て、小中学生から大人まで幅広い方々に百舌鳥・古市古墳群について理解を深めていただき、大阪初の世界遺産登録に向けた取り組みを身近に感じていただくイベントを下記の通り開催します。

小中学生対象の「もずふる教室」では、世界遺産登録までの流れと国内外の登録例を紹介し、百舌鳥・古市古墳群の歴史・文化的価値についてわかりやすく解説します。一般展示では、古墳築造当時の様子を再現した大型ジオラマ(直径10m)の映像、無人航空機(ドローン)で撮影した仁徳天皇陵古墳の高解像度空撮映像を上映します。200インチの大型スクリーンで、1500年の時を経て今に残る巨大古墳の雄姿を実感いただくことができます。もずふる古墳群マップアプリでは、大阪南部に広がる百舌鳥・古市古墳群89基の説明をご覧ください、もずふるクイズに挑戦することができます。そのほか、スマートフォンで古墳群を上空から全方位360°見渡すことができるバーチャル・リアリティ(ハコスコ)体験や、一須賀古墳群から出土した状態を忠実に再現した土器パズルによる土器復元体験など、親子で楽しんでいただける企画が盛りだくさんです。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、周知・当日の取材についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

1 日 時 【一般展示】8月20日(土)～8月21日(日) 11:00～18:00

【もずふる教室】8月20日(土) <1回目> 13:00～14:15

<2回目> 15:30～16:45

(※「もずふる教室」実施中は参加者のみ入場可)

2 場 所 グランフロント大阪 北館2階 ナレッジキャピタル

アクティブスタジオ (アクセス <http://kc-i.jp/access/>)

大阪市北区大深町3-1 (JR大阪駅より 徒歩3分)

3 対 象 【一般展示】どなたでも可

【もずふる教室】小学生・中学生 (詳細は次頁参照)

4 入館料 無 料 (「もずふる教室」への参加には事前申込が必要です)

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■ 関西大学総合情報学部 AMD プロジェクト主催イベント 開催概要

【もずふる教室】

概要 世界遺産の成り立ちや仕組み、登録されている資産の種類を、国内外のいくつかの世界遺産を通じて紹介。百舌鳥・古市古墳群の歴史・文化的な価値を通じて、資産の素晴らしさ、世界遺産登録への取り組みを、映像やマップアプリを使いながらわかりやすく紹介します。

<講師> 福田英人 (大阪府教育庁文化財保護課 主任専門員)

日時 8月20日(土) <1回目> 13:00~14:15、<2回目> 15:30~16:45

場所 グランフロント大阪 北館2階 ナレッジキャピタル アクティブスタジオ

対象 小学生・中学生(各回30名程度)※小学生の方は大人の方同伴でお申込みください。

参加費 無料(事前申込制・先着順)

事前申込 大阪府府民文化部魅力づくり推進課

<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input.do?tetudukiId=2016070018>

(大阪府インターネット申請・申込みシステム)

【一般展示】

仁徳天皇陵古墳の高解像度空撮映像



もずふる古墳群マップアプリ



土器パズル (近つ飛鳥博物館所蔵)



古墳群のジオラマ (近つ飛鳥博物館所蔵)



【注】ジオラマを動画で紹介する映像を展示

【参考情報】

◆ 関西大学総合情報学部 AMD (Art × Media × Design) プロジェクト

メディアアート、情報可視化技術、ヒューマンインタフェース、情報デザイン等を研究する総合情報学部教員有志と各研究室学生による取り組みとして、地域の魅力発信に寄与することを目指す。これまでに、堺市との地域連携事業として、江戸初期の古民家(堺市立町家歴史館 山口家住宅)において地域の歴史・文化をテーマとした展示会(AMD展)を2回(2015年3月、2016年3月)開催し多くの来場者を集めた。また、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議と連携し、仁徳天皇陵古墳の空撮映像をドーム型スクリーンで体感する展示を、本年4月~7月にかけてグランフロント大阪 ナレッジキャピタル内のアクティブラボで開催した。

[参考: http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_inf/news/2016/06/76_3.html]

【参考情報（つづき）】

◆百舌鳥・古市古墳群

百舌鳥・古市古墳群は大阪南部の堺市と、羽曳野市、藤井寺市に広がる巨大古墳群で、堺市の「百舌鳥」と羽曳野市・藤井寺市の「古市」の2つのエリアに分かれているが、相互に一体性・連続性をもっている。このエリアには、4世紀後半から6世紀前半にかけて200基以上の古墳が築造され、そのうち89基は現在も残っている。

〔出典: http://www.mozu-furuichi.jp/jp/learn/mozu_furuichi.html 〕

◆百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の早期実現をめざして、平成23年5月に大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市の知事および3市長をトップとして設立された。推進本部会議では、ユネスコ世界遺産センターに提出する世界遺産登録推薦書案の作成をはじめ、学術的な調査・研究、国内外への情報発信・機運醸成の取組みを進めている。

〔出典: <http://www.mozu-furuichi.jp/jp/conference/headquarters.html> 〕

◆大阪府立近つ飛鳥博物館

大阪府立の歴史系博物館のうち、古墳時代から飛鳥時代を専門的に取り扱う博物館として、平成6年に大阪府南河内郡南町に開館。重要文化財「修羅」をはじめとする実物資料とともに、復元模型も多数展示し、約1500点の展示品を通じて、3～7世紀にあたる日本の古代国家形成史を学ぶことができる。国史跡一須賀古墳群のサイトミュージアムとしての性格も有し、隣接する風土記の丘史跡公園ではたくさんの古墳を見学することができる。

〔HP: <http://www.chikatsu-asuka.jp/> 〕



以 上